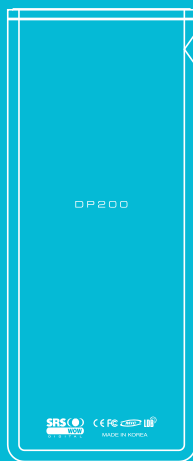




# DP200

Digital Audio Player

## 取扱説明書



最新のカラー版取扱説明書は、SIREN の Web サイト [\[www.sirenjp.com\]](http://www.sirenjp.com) にアップロードされています。

また、巻末には英文のクイックリファレンスを記載しております。

The end of this user guide has a Quick Reference in English.

## 商標と著作権

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
- ② 本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
- ③ 本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- ④ 当社では、本製品を運用した結果の影響につきましては、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ⑤ 本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保障期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft、Windows Media および Windows のロゴは米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

**SRS** (WOW) は SRS Labs, Inc. の商標です。WOW 技術は、SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

MIC ロゴは商標です。



## 目次

安全上のご注意 .....	iii	ナビゲーションを使っの	
絵表示について .....	iii	曲の選択 .....	17
安全上のご注意 [本体] .....	iv	曲の削除 .....	19
はじめに .....	1	区間リピートの設定 .....	20
ご使用の前に .....	2	メインメニューについて .....	21
パッケージ内容の確認 .....	2	モードを変更するには .....	21
充電について .....	3	FM ラジオを聴く .....	22
パソコンを使っの充電 .....	3	スキャンモードとプリセット	
各部の名称と動作 .....	4	モードの切り換え .....	23
各部の名称 .....	4	スキャンモードで FM 放送を	
各部の動作 .....	5	聴く .....	24
表示部 .....	8	自動でプリセットを行う	
再生時表示 .....	8	(オートプリセット) .....	25
FM ラジオ表示 .....	8	プリセットした放送局を	
録音時表示 .....	9	聴く .....	26
メニュー表示 .....	9	プリセットを変更する	
準  備 .....	10	(マニュアルプリセット) .....	26
パソコンとの接続と切り離し .....	10	プリセットを削除する .....	27
接続 .....	10	FM 放送の録音 .....	27
切り離し (Windows 2000/		エリアの切り換え .....	28
Me/XP の場合) .....	11	音声の録音	
切り離し (Windows 98SE の場合、		(ボイスレコーディング) .....	29
「パソコンからの切り離しアイコン		ボイスレコーディング .....	29
が表示されない場合)」 .....	12	ライン入力 .....	30
CD からの録音方法 .....	13	準備 .....	30
基本の操作 .....	14	ライン入力の録音 .....	31
音楽を聴く (基本) .....	14	録音データの再生 .....	32
準備 .....	14	応用の操作 .....	33
再生の基本操作 .....	15	気に入った曲のプログラム	
再生の応用操作 .....	16	(プレイリスト) .....	33
		プログラム方法 .....	33
		プレイリストの再生 .....	35

プレイリストの削除.....	36	表示される言語を選ぶ.....	54
文章を読むには (テキストビューワ).....	37	歌詞を表示する.....	55
準備.....	37	間違ってキーを押さない ために.....	56
文章を読む.....	38	ホールド機能について.....	56
設定を変更するには.....	39	ファームウェアの アップグレードについて.....	57
セッティングメニューの 操作.....	39	ホームページからのファーム ウェアのダウンロード方法.....	57
音に関する設定を変更する.....	41	ファームウェアのアップ グレード方法.....	61
音質を切り換える.....	41	リカバリーモードを使つての ファームウェアのアップ グレード方法.....	64
音質をバンドごとに 設定する.....	42	ファームウェアのバージョン を確認.....	65
SRS の設定を変更する.....	43	その他.....	67
再生する速度の切り換え.....	44	故障かなと思ったら.....	67
キーを押したときの音の 設定.....	45	本機のリセット方法.....	68
表示に関する設定を 変更する.....	46	サポートセンターへの お問い合わせ方法.....	69
文字のスクロール速度を 設定する.....	46	最新情報について.....	69
コントラストを調節する.....	47	製品の修理／交換に ついて.....	70
表示を自動に切る (LCD 自動オフ).....	48	<b>Quick Reference .....</b>	<b>71</b>
ID3 タグで表示する.....	49	Part names and functions.....	71
タイマー設定を変更する.....	50	Main Menu.....	74
設定した時間が過ぎると電源を 切る(スリープタイマー).....	50	To change the mode.....	74
操作がないと自動で電源を 切る(パワーセイビング).....	51	Main Menu Contents .....	74
録音するレベルを変更する.....	52	Setting Menu .....	76
録音する際の入力レベルを 設定する.....	52	To change the Setting Menu .....	76
キー操作やその他設定を変更 する.....	53	Setting Menu Chart .....	77
再生方法を選択する.....	53	Setting Menu Contents.....	77

## 安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

### ■ 絵表示について ■

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。  
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。  
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

## 安全上のご注意 [本体]

### 警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを  
コンセントか  
ら抜け

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水場での使用  
禁止

- 雷が鳴り出したら、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



水濡れ禁止

- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを  
コンセントか  
ら抜け

### 警告

- この機器の内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

## ⚠ 注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
  - ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
  - 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
  - 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 
- イヤホンやスピーカー等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
  - 再生する前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、本機をスピーカーを使ってお楽しみなる前にも、音量(ボリューム)を最小にしてください。
  - 自動車やバイク、自転車の運転中は、イヤホンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。
  - 大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。



## はじめに

### まず、はじめに

この度は本製品をお買い上げいただきありがとうございます。本製品の機能を最大限に利用してあなたの音楽ライフをさらに楽しいものにしてください。この「取扱説明書」では製品の操作方法と機能についてご紹介しています。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」「取扱説明書」をよくお読みください。

### 本製品の特徴

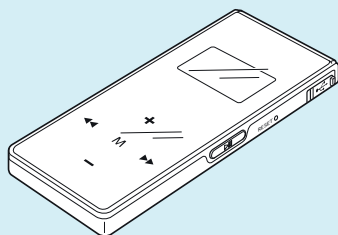
- MP3、WMA、WMA (DRM 対応)、WAV および Ogg Vorbis ファイルの再生が可能
- 便利なフォルダー機能
- ID-3 タグ (ID3 V.1、ID3 V.2 対応) をサポート
- 日本語を含む多言語表示に対応
- FM チューナー機能、20 プリセットチャンネル
- FM 録音
- 内蔵マイクによる音声録音
- 有機 EL ディスプレー搭載
- スクリーンセーバー機能
- USB2.0 対応 (転送速度 最大 12Mbps)
- 5 種類のプリセットイコライザー機能およびカスタム設定できるユーザー設定イコライザーが使用可能
- 内蔵リチウムポリマー充電電池を使用し、約 11 時間の連続再生が可能
- バッテリー残量表示
- 対応 OS : Windows Me、2000、XP
- Windows 98 SE 対応 : 専用ドライバーのインストールが必要
- 本体の寸法は (突起物を含まず) (mm) : 33.5 (W) × 81 (H) × 7.5 (D)
- 重量 : 約 26g (内蔵充電電池含む)
- ファームウェアのアップグレード
  - ◆ 最新のファームウェアは SIREN Web サイト [[www.sirenjp.com](http://www.sirenjp.com)] からダウンロードしてください
  - ◆ ファームウェアのアップグレードをする前に、本機に入っている重要なファイルは必ずバックアップ保存してください

## ご使用の前に

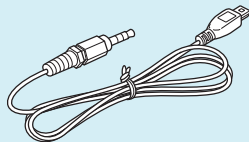
### パッケージ内容の確認

- 重要** ● お買い求めになられて、ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、お買い求めになられた販売店または当社のサポートセンターまでご連絡ください。

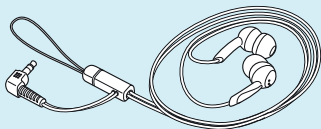
- DP200 デジタルオーディオプレーヤー



- USB ケーブル(パソコン接続用)    ● ライン入力ケーブル



- ネックレス型イヤホン    ● 取扱説明書(本書)
- クイックガイド    ● 保証書
- 録音方法ガイド

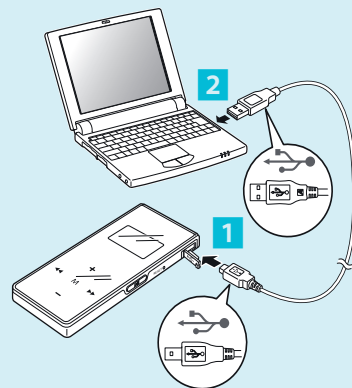


## 充電について

- 重要** ● お買い求めになられた製品は充電されておりません。お使いになる前に必ず充電を行ってください。

### パソコンを使つての充電

- 1 本機の接続端子と付属の USB ケーブル(パソコン接続用)を接続します。
- 2 接続した USB ケーブルの USB プラグとパソコンの USB 端子を接続します。  
● 表示部に が表示されます。
- 3 表示部の が に変わったことを確かめてください。  
● になれば充電完了です。初めて充電する場合や長期間で使用しなかった場合は、 になるまで約 4～5 時間かかる場合があります。
- 4 「パソコンとの接続と切り離し」(P.10～P.12)を参考にして、本機をパソコンから取り外してください。  
● 表示は消え、電源を切った状態になります。

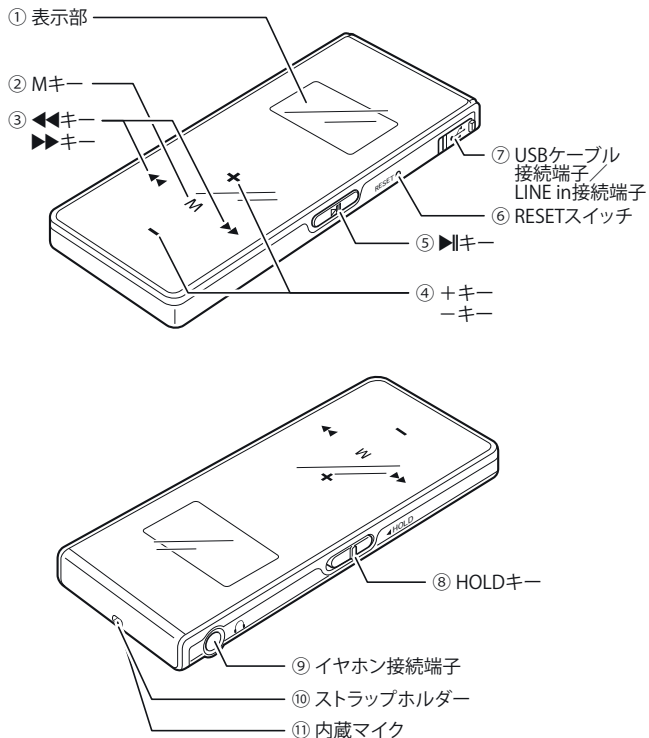


- ヒント** ● パソコンと USB ケーブルを接続する場合、パソコンによっては USB 端子の向きが逆の場合があります。USB ケーブルのコネクタが入らない場合は、無理に挿入せず、逆向きに挿入してください。

※充電用 AC アダプターは別売です。

## 各部の名称と動作

### 各部の名称



### 各部の動作

各メニュー時の操作によりこれらのキーの機能が異なるキーもありますので、各メニュー操作の説明をご覧ください。

#### ① 表示部

曲名やアーティスト名等が表示されます。(P.8)  
選曲や設定のためのメニューが表示されます。(P.9)

#### ② M キー

このキーを押すと、メインメニュー表示になります。(P.9)  
このキーを押して、選択した項目を決定します。  
音楽再生中に押すと「A-B 区間リピート」の設定ができます。

#### ③ ◀◀キー、▶▶キー

##### ◆ 音楽再生モード時

▶▶ キーを押すと、次のデータ番号の曲に移ります。  
◀◀ キーを押すと、前のデータ番号の曲に移ります。  
▶▶ キーを押し続けると、曲の早送りができます。  
◀◀ キーを押し続けると、曲の早戻しができます。  
曲の早送り、早戻しは、曲の停止中でも行えます。

##### ◆ FM ラジオモード時

▶▶ キーを押すと、0.1MHz ステップで周波数が上がります。  
◀◀ キーを押すと、0.1MHz ステップで周波数が下がります。  
▶▶ キーを押し続けると、周波数の高い局を自動的に検索します。  
◀◀ キーを押し続けると、周波数の低い局を自動的に検索します。

##### ◆ ナビゲーション時

◀◀ キーまたは ▶▶ キーを押すことにより、フォルダーの階層を移動させることができます。

#### ④ -キー、+キー

◆ 音楽再生、FM ラジオ、ボイス再生モード時  
+キーを押すと、音量が大きくなります。  
-キーを押すと、音量が小さくなります。  
+キーを押し続けると、音量が早く大きくなります。  
-キーを押し続けると、音量が早く小さくなります。  
これらのキーを押して、セッティングメニューの操作時(P.39)に設定値を選びます。

◆ ナビゲーション時  
+キーまたは-キーを押すことにより、フォルダーおよびファイルの移動が行えます。

#### ⑤ ▶|| キー

このキーを押すと、電源が入ります。

◆ 音楽再生モード時  
このキーを押すと、曲の再生・一時停止を行います。

◆ FM ラジオモード時  
このキーを押すと、一時的に音声を止めるミュート状態になります。

#### ⑥ RESET (リセット)スイッチ

本機が動かなくなったときには、このスイッチをゼムクリップ等で押してリセットを行ってください。設定等が初期設定になります。本機が動かなくなったときに行ってください。

#### ⑦ USB ケーブル接続端子／LINE in 接続端子

この端子に、パソコンと接続する場合は、USB ケーブルを接続します。  
LINE in 録音を行うときは、LINE 入力ケーブルを接続します。

#### ⑧ HOLD (ホールド) キー

このキーを左側(◀方向)にスライドさせると、全てのキー操作ができなくなります。

#### ⑨ イヤホン接続端子

この端子にイヤホンを接続します。

#### ⑩ ストラップホルダー

ここ部分に、付属のネックレスイヤホンのストラップ部を通して使います。

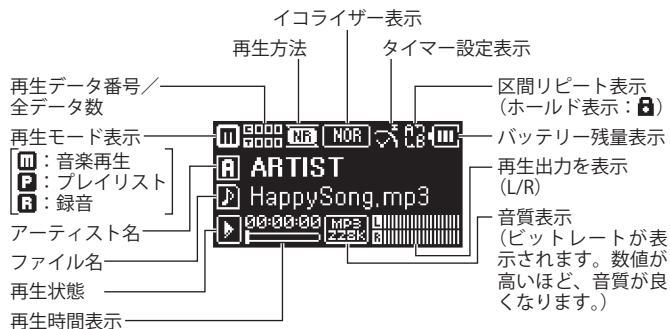
#### ⑪ 内蔵マイク

この部分が内部マイクです。ボイスレコーディング時に使用します。(P.28)



## 表示部

### 再生時表示



- ヒント** ●再生する曲や設定により、表示されない項目があります。

### FM ラジオ表示

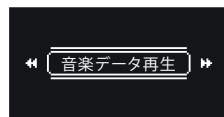


### 録音時表示



### メニュー表示

メインメニューおよびセッティングメニューを選択した場合は、下図の表示が表示されます。



メインメニュー



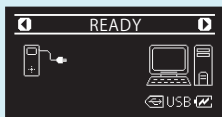
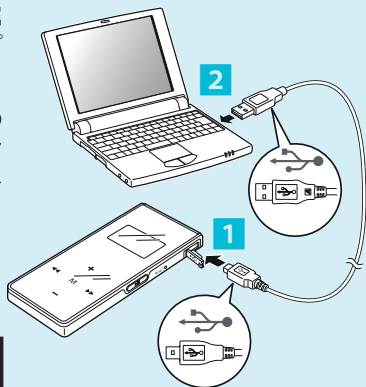
セッティングメニュー

## 準備

### ▶ パソコンとの接続と切り離し

#### ■ 接続

- 1 本機の接続端子と付属 USB ケーブルのミニプラグを接続します。
- 2 付属 USB ケーブルの USB プラグとパソコンの USB 端子を接続します。
- 3 本機の表示が次のようになることを確認します。



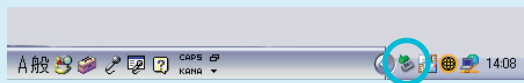
#### 💡 ヒント

クリック ..... マウスの左ボタンを押して、はなす操作です。  
 ダブルクリック ..... マウスの左ボタンを 2 回素早く押して、はなす操作です。  
 右クリック ..... マウスの右ボタンを押して、はなす操作です。

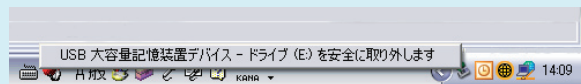
- ✓ **注意** ● パソコンによっては、USB 端子の向きが逆の場合があります。入らない場合は、無理に挿入せず USB ケーブルを逆向きに挿入してください。

### ■ 切り離し (Windows 2000/Me/XP の場合)

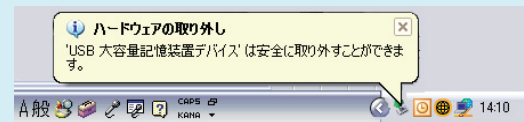
- 1 パソコンのタスクバーにある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。  
 ● 「USB 大容量記憶装置デバイスドライブを安全に取り外します」が表示されます。



- 2 「USB 大容量記憶装置デバイスドライブを安全に取り外します」をクリックします。  
 ● 「ハードウェアの取り外し」が表示されます。



- 3 「ハードウェアの取り外し」の×をクリックします。



- 4 本機をパソコンから外します。

#### 💡 ヒント

- パソコンから切り離すと、本機は電源が切れた状態になります。
- 手順 2 にて左クリックするタイミングにより、本機の表示が点灯したままになることがあります。但し、本機をパソコンから切り離すと、本機は電源が切れた状態になります。

## 切り離し(Windows 98SE の場合、「パソコンからの切り離しアイコンが表示されない場合」)

- 1 パソコン上の「マイ コンピューター」をダブルクリックします。
  - 「マイ コンピュータ」のウィンドウが表示されます。
- 2 「マイ コンピュータ」のウィンドウにある「リムーバブルディスク」アイコンをクリックします。
  - 「リムーバブルディスク」が選ばれた状態になります。
- 3 選ばれた「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし、表示されたメニューの「取り出し」をクリックします。
- 4 本機をパソコンから外します。

### ヒント

- Windows 98SE をお使いになる場合は、SIREN Web サイト [[www.sirenjp.com/support/](http://www.sirenjp.com/support/)] からドライバーをダウンロードしてください。
- パソコンから切り離すと、本機は電源が切れた状態になり、再度電源が入ります。

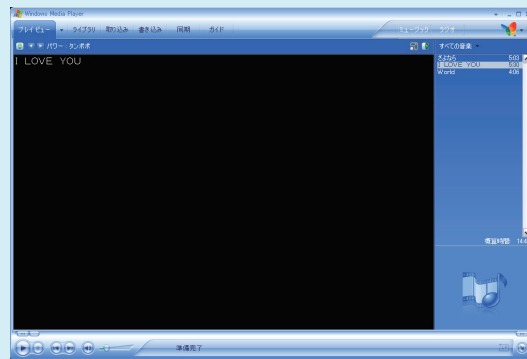
## CD からの録音方法

CD から録音する場合、曲をパソコンに音楽データとして取り込み(ダウンロード)、その後にその音楽データを本機にダウンロードします。この CD からパソコンへのダウンロードまたパソコンから本機へのダウンロードを行うときは、Windows に付属されている Windows Media Player を使います。

- 1 スタートメニューから Windows Media Player のアイコンをクリックします。



- Windows Media Player 10 を開くと、次のような表示になります。



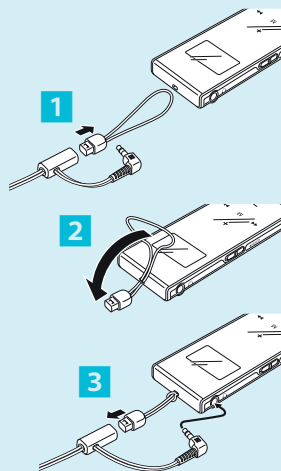
- Windows Media Player 10 の使い方については、本機に同梱されています「CD からの録音方法(Windows Media Player 使用時)」をご覧ください。

## 基本の操作

### 音楽を聴く(基本)

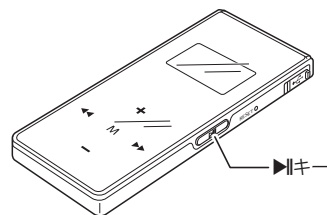
#### 準備

- 1 付属のイヤホンのネクストラップ部を回して外します。
- 2 外したネクストラップ部を本機のホルダー部分に通します。
- 3 外したネクストラップ部を本機に取り付け後、本機のイヤホン端子とイヤホンのジャックを接続します。



- 注意** ●市販のイヤホンをお使いになるときは、本機がイヤホンから外れて落ちない様に気を付けてください。万が一、本機を落とされると、故障の原因となることがあります。

### 再生の基本操作



- 注意** ●曲を再生する前に、▶||キーを押して音量(ボリューム)は、最小にしてください。音量が大きいと、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

- 1 ▶||キーを1秒以上押し、電源を入れます。
  - 表示部にSIRENのロゴとファームウェアのバージョンが表示され、再生表示になります。
  - ▶||キーを放してから、SIRENのロゴが表示されるまでに約2秒程度かかる場合があります。
- 2 再度、▶||キーを押し、曲を再生します。
  - 再生を一時停止するには、▶||キーを押します。
- 3 電源を切るには、SIRENロゴが表示されるまで▶||キーを押し続けます。
  - SIRENロゴが表示される前にキーを放すと、元の状態に戻ります。

- ヒント** ●電源を切る前に他のモードにしているでも電源を入れ直すと音楽再生モードになります。
- 音楽の再生中に電源を切って再度電源を入れた場合は、電源を切った時の音楽の位置になります。(タイムレジューム機能)。

## 再生の応用操作

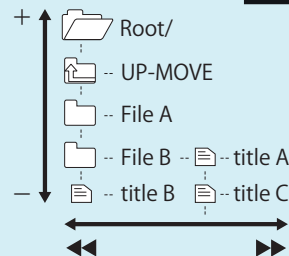
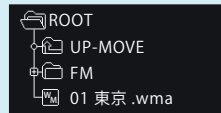
### 再生時に使うその他のキー

- 1 **▶||** キーを 1 秒以上押し、電源を入れます。
- 2 再度、**▶||** キーを押し、曲を再生します。
- 3 **+** キーまたは **-** キーを押し音量を調整します。
  - **+** キーを押すと、音量が大きくなります。
  - **-** キーを押すと、音量が小さくなります。
  - **+** キーを押し続けると、音量が早く大きくなります。
  - **-** キーを押し続けると、音量が早く小さくなります。
- 4 **▶▶** キーを押すと、次の曲に移ります。
  - **▶▶** キーを押し続けると、曲の早送りができます。
- 5 **◀◀** キーを 1 回押すと、再生中の曲の最初に戻ります。
  - **◀◀** キーを続けて押すと、前のデータ番号の曲に移ります。
  - **◀◀** キーを押し続けると、曲の早戻しができます。

 **ヒント** ● 曲の早送り、早戻しは、曲の停止中でも行えます。

## ナビゲーションを使つての曲の選択

- 1 M キーを押し、メインメニューを表示します。
- 2 **◀◀** または **▶▶** キーを押し、「ナビゲーション」を選びます。
- 3 M キーを押します。
  - 曲をまとめて入れたフォルダーまたは Root フォルダーと曲が表示されます。



- 4 **+** または **-** キーを押し、再生したい曲またはフォルダーを選びます。
- 5 再生したい曲またはフォルダーが決まったら、**▶▶** キーを押します。
  - フォルダーを選んだときは、フォルダー内が表示されます。曲を選んだときは再生が始まります。
- 6 手順 4 と 5 を繰り返し、再生したい曲を選んでください。
  - 表示が再生画面に戻り、曲の再生が始まります。

**ヒント**

- ナビゲーションを選んだ際に表示されるのは以下のデータのみです。  
音楽データ (MUSIC)、FM 録音データ (FM)、ボイスレコーディングデータ (VOICE)、ライン入力データ (LINE-IN)、テキストデータ (TEXT)  
これ以外のパソコン用のデータは、データが入っていても表示されません。
- FM 録音データ、ボイスレコーディングデータおよびライン入力データの再生は、メインメニューの録音データ再生で行ってください。また、テキストデータの再生は、メインメニューのテキストビューワで行ってください。
- ►► キーを押すと、選ばれているフォルダーの中が表示されます(下の階層に移動します)。◀◀ キーを押すと、選ばれている曲やフォルダーが入っているフォルダーが表示されます(上の階層に移動します)。
- ◀◀ UP-MOVE を選んで M キーを押すと、1 つ上の階層に移動します。

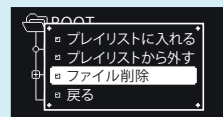
**曲の削除**

パソコンを使わず、本機の「ナビゲーション」機能を使って、保存されているデータを削除することができます。

**重要**

- 一度削除したデータは復活することができません。
- フォルダーごとの削除およびフォルダーの削除はできません。

- 1 メインメニューにて、◀◀または►► キーを押し、「ナビゲーション」を選び、M キーを押します。
- 2 + / - キーまたは ◀◀/►► キーを使い、削除したいデータを選びます。
- 3 M キーを押します。  
● 「ナビゲーション」のメニューが表示されます。
- 4 + または - キーを押し「ファイル削除」を選びます。



- 5 M キーを押します。  
● ファイルの削除の確認表示が出ます。
- 6 ◀◀または►► キーを押し、削除する場合は「YES」を選び M キーを押します。  
● 選んだデータのみが削除されます。  
● 削除しない場合は「NO」を選んで、M キーを押してください。
- 7 メインメニューに戻るには M キーを 2 秒以上押します。

## 区間リピートの設定

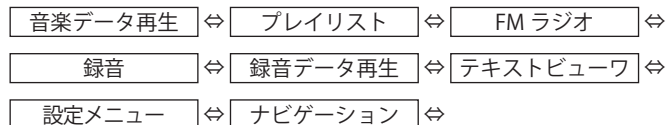
再生中の曲のお聴きになりたい区間を繰り返し再生できます。

- 1** 区間リピートさせたい音楽データを再生します。(P.15)
- 2** 区間リピートをさせたい最初の部分がきた時に、M キーを短く押します。
  - 表示部には[ ] が表示されます。
- 4** 区間リピートをさせたい最後の部分がきた時に、再度 M キーを押します。
  - 表示部は[ ] となり、設定した区間のみ演奏が繰り返されます。
- 5** 区間リピート演奏を解除するには、M キーを押します。
  - 表示部から区間リピートを示すアイコンが消えます。

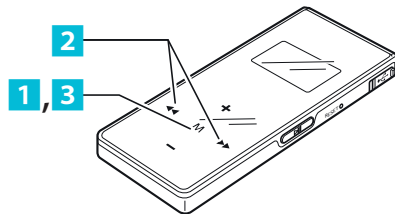
**✓ 注意** ●区間リピートは、トラック間を越えての設定はできません。同一のトラック内の設定となります。

## メインメニューについて

本機には音楽再生以外にも、次のようなモードがあります。メインメニューを使ってモードを切り換えます。



## モードを変更するには



- 1** メインメニューが表示されるまで、M キーを押します。
- 2** ◀◀または▶▶ キーを押して、モードを選びます。
- 3** M キーを押します。

## FM ラジオを聴く

本機の FM ラジオ機能を使って、FM 放送をステレオで聞くことができます。

- FM ラジオ機能には、スキャンモードとプリセットモードの 2 つのモードがあります。スキャンモードでは、表示部に **S** が表示されます。プリセットモードでは、表示部に **P** が表示されます。スキャンモードでは、◀◀ または ▶▶ キーを操作してお聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。プリセットモードでは、予めお聴きになる放送局を登録(プリセット)しておいて、それらの登録された番号(プリセット番号)によりお聴きになりたい放送局を選びます。
- 受信できる放送局を自動的に探し出してプリセットするオートプリセット機能があります。
- プリセットできる放送局は 20 局までです。また、オートプリセットで登録された放送局を手動で入れ直すこともできます。
- FM 放送をお聞きになりながら、その放送を録音することも可能です。

### 重要

- 本機ではイヤホンがアンテナの役割をしています。したがって、どのモードや操作のときでも、イヤホンは接続しておいてください。

### ヒント

- FM ラジオを使っている間は、自動的に電源を切るパワーセービング機能(P.51)は働きません。

## スキャンモードとプリセットモードの切り換え

FM 放送を聴く前に本機のモードを設定する必要があります。

- 1 メインメニューにて、◀◀ または ▶▶ キーを押し、「FM ラジオ」を選び、M キーを押します。



- 2 M キーを押し FM ラジオメニューを表示させます。  
● この時、M キーを長く押しと、メインメニューが表示されます。



- 3 + または - キーを押し、「SCAN MODE」または「PRESET MODE」を選びます。  
● この時、FM ラジオメニューには、それぞれ切り換えようとするモードのみ表示されます。したがって、プリセットモード時には「SCAN MODE」、スキャンモード時には「PRESET MODE」が表示されます。
- 4 M キーを押します。  
● モードが変更されます。表示部にはプリセットモード時には **P**、スキャンモード時には **S** が表示されます。  
● モードが変更されない場合は、+ または - キーを押し、「EXIT」を選び、M キーを押します。



## ■ スキャンモードで FM 放送を聴く ■

- 1 「スキャンモードとプリセットモードの切り換え」(P.23)を行います、スキャンモードにします。
  - スキャンモードの **S** が表示されます。
- 2 ◀◀ または ▶▶ キーを押すたびに、周波数は 0.1MHz ステップで変わります。
  - ◀◀ または ▶▶ キーを押し続けると、自動的に周波数の検索を始めます。電波を受信すると検索は、自動的に停止します。
  - ステレオ放送を受信すると表示部に **STEREO** が表示されます。
  - モノラル放送または電波の弱いステレオ放送を受信すると表示部に **MONO** が表示されます。
- 3 受信した局に合わせて、音量を調節してください。
  - ▶|| キーを押すと、音声を一時的に消すミュート状態になります。このとき、表示部に **MUTE** が表示されます。

## ■ 自動でプリセットを行う(オートプリセット) ■

本機のオートプリセット機能を使うと、自動的に受信できる放送局を探し出し、その放送局の周波数をプリセットしていきます。

- 重要** ● この機能を使うと、事前にプリセットされた放送局は全て、この機能にて自動的に受信した放送局に入れ替わります。
- 1 メインメニューにて、◀◀ または ▶▶ キーを押し、「FM ラジオ」を選び、M キーを押します。
  - 2 M キーを押し、FM ラジオメニューを表示させます。
    - この時、M キーを長く押すと、メインメニューが表示されます。
  - 3 + または - キーを押し、「AUTO PRESET」を選び、M キーを押します。
    - オートプリセットが始まり、表示部に「AUTO PRESET」が表示されます。
    - オートプリセットが終わると、「AUTO PRESET」の表示は消えます。
    - 自動的にプリセット番号の Ch01 ~ Ch20 番まで登録されます。
    - 受信できる放送局の数により、プリセット番号が違って同じ周波数が登録されていることがあります。

## プリセットした放送局を聴く

- 1 「スキャンモードとプリセットモードの切り換え」(P.23)を行い、プリセットモードにします。
  - プリセットモードの**P**が表示されます。
- 2 ◀◀または▶▶ キーを押すたびに、プリセット番号が変わります。
  - プリセット局に合わせて、音量を調節してください。

## プリセットを変更する(マニュアルプリセット)

- 1 「スキャンモードとプリセットモードの切り換え」(P.23)を行い、プリセットモードにします。
  - プリセットモードの**P**が表示されます。
- 2 ◀◀または▶▶ キーを押し、変更したいプリセット番号にします。
- 3 「スキャンモードとプリセットモードの切り換え」を行い、スキャンモードにします。
- 4 「スキャンモードでFM放送を聴く」(P.24)の手順1から2を行い、プリセットしたい放送局を受信します。
  - スキャンモードの**S**が表示されます。
- 5 M キーを押し FM ラジオメニューを表示させます。
  - この時、M キーを長く押すと、メインメニューが表示されます。
- 6 +または-キーを押し、「PRESET ADD」を選び、M キーを押します。
  - 表示が元に戻り、プリセット番号が一度点滅します。
  - モードはスキャンモードのままです。必要があればプリセットモードに変更してください。

## プリセットを削除する

- 1 「スキャンモードとプリセットモードの切り換え」(P.23)を行い、プリセットモードにします。
  - プリセットモードの**P**が表示されます。
- 2 ◀◀または▶▶ キーを押し、削除したいプリセット番号にします。
- 3 M キーを押し FM ラジオメニューを表示させます。
  - この時、M キーを長く押すと、メインメニューが表示されます。
- 4 +または-キーを押し、「PRESET DEL」を選び、M キーを押します。
  - 表示が元に戻り、次のプリセット番号が表示されます。
  - 削除しない場合は、+または-キーを押し、「EXIT」を選び、M キーを押します。

## FM 放送の録音

- 1 「スキャンモードでFM放送を聴く」(P.24)または「プリセットした放送局を聴く」(P.26)の手順に従い、録音したい放送局を選びます。
- 2 M キーを押し FM ラジオメニューを表示させます。
  - この時、M キーを長く押すと、メインメニューが表示されます。
- 3 +または-キーを押し、「RECORD」を選び、M キーを押します。
  - FM 録音の表示に変わります。
- 4 録音を止めるには、M キーまたは▶▶ キーを押します。
  - FM ラジオの表示に変わります。



- 録音されたデータは、WAV 形式のデータとして保存されます。
- 録音されたファイルは F00X.WAV というファイル名になります。  
メインメニューの「録音データ再生」にてファイルを選択して再生してください(P.32)。

## エリアの切り換え

本機は海外でご使用されるときのために、日本の放送帯域以外の周波数も受信できるようになっています。

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「FM ラジオ」を選び、M キーを押します。
- 2 M キーを押し、FM ラジオメニューを表示させます。  
● この時、M キーを長く押すと、メインメニューが表示されます。
- 3 +または-キーを押し、「SELECT AREA」を選びます。
- 4 M キーを押します。  
● エリア表示が日本を表す「JPN」から「STD」→「WIDE」に変わります。  
受信できる周波数の範囲は  
「JPN」：76.0MHz～90.0MHz  
「STD」：87.0MHz～108.0MHz  
「WIDE」：76.0MHz～108.0MHz  
になります。
- 5 手順2から4を繰り返し、エリアを切り換えます。  
● 「WIDE」を選ぶと、受信できる周波数の範囲が広いためスキャンモードで受信できる周波数を探したり、オートプリセットを行うのに時間が掛かることがあります。



## 音声の録音 (ボイスレコーディング)

本機の音声録音機能を使って、用件や会議の音声を録音できます。

### ボイスレコーディング

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「録音」を選びます。



- 2 M キーを押します。  
● 録音が始まります。  
● 本機の内蔵マイクは、ストラップホルダーの下にあります。従って、ボイスレコーディング中は、ストラップホルダー側を音声の方向へ向けてください。



- 3 録音を止めるには、M または ▶|| キーを押します。

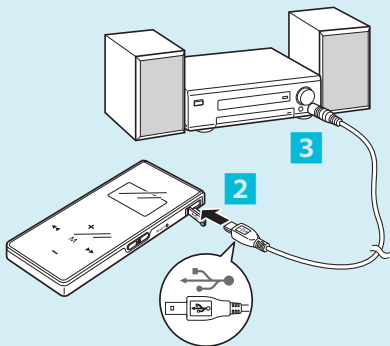


- 録音されたデータは、WAV 形式のデータとして保存されます。
- 録音する音源の音量に合わせて、入力レベルを変更できる録音レベル設定機能があります(P.52)。
- 録音されたファイルは V00X.WAV というファイル名になります。  
メインメニューの「録音データ再生」にてファイルを選択して再生してください(P.32)。
- 録音したデータ(WAV 形式)も、音楽データと同様に色々な再生ができます。

## ライン入力

### 準備

- 1 接続をする前に本機とお使いになるオーディオ機器の電源を切ります。
- 2 ライン入力ケーブルの端子と本機のUSBケーブル接続端子／LINE in接続端子を接続します。
- 3 ライン入力ケーブルのプラグをお使いになるオーディオ機器と接続します。
- 4 本機とお使いになるオーディオ機器の電源を入れます。



## ライン入力の録音

- 1 お使いになるオーディオ機器にて、録音したい曲を再生一時停止にします。
- 2 メインメニューにて、◀◀または▶▶キーを押し、「録音」を選びます。
- 3 Mキーを押します。
  - 録音が始まります。
  - オーディオ機器の曲を再生させます。



- 4 録音を止めるには、Mまたは▶▶キーを押します。

- ヒント**
- 録音されたデータは、WAV形式のデータとして保存されます。
  - 録音されたファイルはL00X.WAVというファイル名になります。  
メインメニューの「録音データ再生」にてファイルを選択して再生してください(P.32)。
  - 録音した曲(WAV形式データ)も、音楽データと同様に色々な再生ができます。
- 注意**
- 入力する音楽の音量が大きい場合は録音したファイル再生時にノイズが発生する場合があります。ノイズが発生する場合は、入力する音量を下げてから録音してください。  
また、録音する曲に合わせて、入力レベルを変更できる録音レベル設定機能があります(P.52)

## 録音データの再生

ボイスレコーディングやライン入力による録音、また FM 放送を録音したデータを再生します。

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「録音データ再生」を選び、M キーを押します。  
●録音データ再生の表示になります。



- 2 ◀◀または▶▶ キーを押し、再生したい録音データを探します。
- 3 ▶▶ キーを押します。  
●録音データの再生が始まります。
- 4 再生を停止する場合は、▶▶ キーを押します。
- 5 他の録音データを再生するときは、手順 2 から 4 を繰り返します。

- ヒント**
- 録音データは、下記の順で表示されます。  
FM 放送の録音 (F00x.WAV) → ライン入力 (L00x.WAV) → ボイスレコーディング (V00x.WAV)
  - 録音されたデータは、音楽再生と同様に色々な再生方法や音質を選ぶことができます。
  - ナビゲーションからは、録音データを再生できません。ナビゲーションでは、それぞれのフォルダーは、次のように表示されます。  
FM 放送の録音データ：「FM」、ライン入力：「LINE-IN」、ボイスレコーディング：「VOICE」。

## 応用の操作

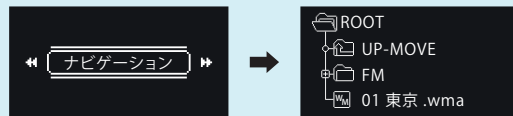
### 気に入った曲のプログラム(プレイリスト)

#### プログラム方法

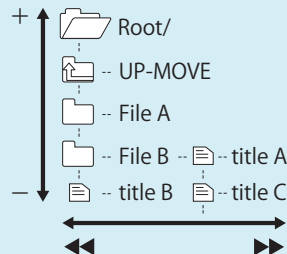
本機にダウンロードした複数の音楽データの中から、気に入った曲またはフォルダーをリストにして演奏することができます。まずは以下の手順でプレイリストを作成してください。

- ヒント** ●プレイリストを作成するには、複数の音楽データがダウンロードされている必要があります。

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「ナビゲーション」を選び、M キーを押します。

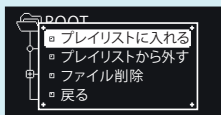


- 2 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを押し、プレイリストに登録したい音楽データまたはフォルダーを選びます。



- 3** M キーを押します。  
●ナビゲーションのメニューが表示されます。

- 4** +または-キーを押し、「プレイリストに入れる」選び、M キーを押します。  
●フォルダーを選んだときはフォルダーのアイコンにレ印が付きます。曲を選んだときは、ファイル名の最初のフォーマット形式が反転します。



- 5** 手順2 から4 を繰り返し、プレイリストに曲を登録していきます。

- 6** プレイリストに登録された曲を解除するには、手順4 にて、+または-キーを押し、「プレイリストから外す」選び、M キーを押します。  
●フォーマット形式の反転は、元に戻ります。フォルダーの場合はレ印が消えます。

- 7** 直ぐにプレイリストの再生を始める場合は、▶|| キーを押します。  
●再生表示の左上にプレイリストの再生を示すPが表示され、プレイリストに登録された曲のみ演奏されます。  
●ナビゲーションから音楽再生に戻る場合は、M キーを2秒以上押します。  
●ナビゲーションからメインメニューに戻る場合は、+/-キーまたは◀▶キーを押し、「UP-MOVE」を順次選んでいき、メインメニューに戻ります。

- ヒント** ●プログラムリストの設定は、フォルダーを超えて設定できます。  
●プレイリスト機能は、ボイスレコーディングデータ、ライン入力データ、FM ラジオ録音データ、TEXT データでは利用できません。  
これらのデータを選んでも、手順4で「プレイリストへ入れる」は、表示されません。  
●本機のリセットを行ってもプレイリストは削除されません。

## プレイリストの再生

- 1** メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「プレイリスト」を選び、M キーを押します。  
●プレイリストに登録されている最初の音楽データが表示されます。  
●再生表示の左上にプレイリストの再生を示すPが表示され、プレイリストに登録された曲のみ演奏されます。

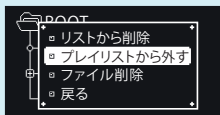


- 2** ◀◀または▶▶ キーを押し、再生したい音楽データを選びます。  
**3** ▶|| キーを押します。  
●再生が始まります。

- ヒント** ●プレイリストに1曲も音楽データが登録されていない時に、「プレイリスト」を選べど「No Files」が表示されます。  
●ナビゲーションでプレイリストに登録されている音楽データを選んで▶|| キーを押しても、プレイリストは再生されます。

## プレイリストの削除

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「ナビゲーション」を選び、M キーを押します。
- 2 ナビゲーションが表示されたら、M キーを押します。
  - ナビゲーションのメニューが表示されます。
  - プレイリストに登録されている音楽データやフォルダーを表示させます。
- 3 +または-キーを押し、「リストから削除」または「プレイリストから外す」を選び、M キーを押します。
  - 「リストから削除」を選ぶと、選択した曲がプレイリストから削除されます。選択した以外のリストはそのまま残ります。
  - 「プレイリストから外す」を選ぶと、プレイリスト全体がリストより削除されます。
  - プレイリストに選ばれていたフォルダーのアイコンに付いていたV印が消えます。  
プレイリストに選ばれていた曲の、反転していたフォーマット形式のアイコンが元に戻ります。



### ヒント

- プレイリストを削除しても、元の音楽データは削除されません。
- プレイリストから特定の音楽データやフォルダーのみ削除するときは、「プログラム方法」の手順 1 から 4 を行い、更に手順 6 を行ってください。(P.33)
- プレイリストが削除された後で、「プレイリスト」を選ぶと「No Files」と表示されます。

## 文章を読むには(テキストビューワ)

パソコンからテキストデータをダウンロードすることで、本機を使ってテキストデータ(文章)を読むことができます。

読むことの出来るデータは、書式無しの拡張子が.txtのテキストデータのみです。

### 準備

- 1 パソコンのワープロソフト使って、お読みにになりたい文章を拡張子が.txtのテキストデータにします。
- 2 本機とパソコンを接続します。(P.10)
- 3 作られたデータを本機の TEXT フォルダに入れます。
  - 他のフォルダに入っている、テキストデータは読むことはできません。
- 4 本機をパソコンから切り離します。(P.11 ~ 12)



### ヒント

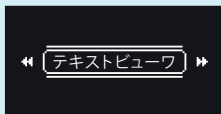
- 拡張子とは、ファイル名の「.(ピリオド)」で区切られた一番右側の英数字部分です。例 siren.txt の場合：siren = ファイル名、. = ピリオド、txt = 拡張子
- 拡張子はお使いになるパソコンの設定により表示されない場合があります。拡張子が表示されていない場合は、Windows XP では次のようにすると、拡張子が表示されます。  
スタート→コントロールパネル→デスクトップの表示とテーマ→フォルダオプション→表示の順で「登録されている拡張子は表示しない」を選びます。  
「登録されている拡張子は表示しない」のチェックマークをクリックして、チェックマークを外します。適用をクリックした後、OK をクリックしウィンドウを閉じます。

**重要**

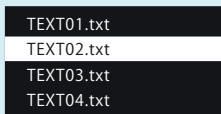
- DOC や RTF 形式で作成された文章の拡張子だけを「.txt」に変更しても文章は、正しく表示されないことがあります。

**文章を読む**

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「テキストビュー」を選びます。



- 2 M キーを押します。
  - 読むことの出来るテキストデータのリストが表示されます。



- 3 +または-キーを使って、お読みになるテキストデータ(文章)を選び、M キーを押します。
  - 文章が表示されます。

- 4 +または-キーを使って、ページを進めたり、戻したりします。
  - ▶|キーを押すと、自動ページ送りになります。自動ページ送り中でも、+または-キーを使って、ページを進めたり、戻したりできます。

- 5 他の文章を読むときは、M キーを押し、テキストデータのリスト表示へ戻り、手順2から4を繰り返します。

**ヒント**

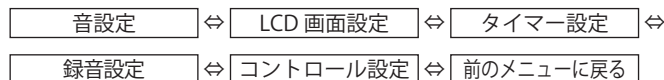
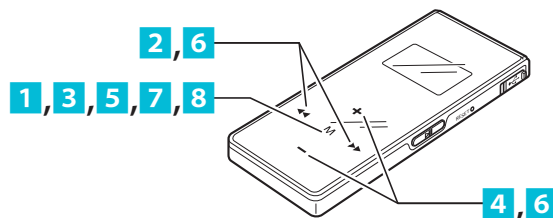
- テキストデータリストに戻り前に読んでいた文書を再び選ぶと、「前のテキストから始めますか。」と表示されます。前に読んでいたページから始める場合は、◀◀または▶▶ キーを押して、YES を選んで▶|キーを押してください。

**設定を変更するには**

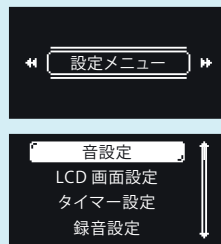
セッティングメニューを使うと、本機の再生方法や、音質などの様々な設定を変更できます。

**ヒント**

- セッティングメニューでは、縦に表示される項目は+または-キーを押して選びます。横に表示される項目は◀◀または▶▶ キーを押して選びます。

**セッティングメニューの操作**

- 1 M キーを2秒以上押し続けた後に離します。
  - メインメニューが表示されます。
- 2 ◀◀または▶▶ キーを押し、「設定メニュー」を選びます。
- 3 M キーを押します。
  - 設定メニューが表示されます。





**4** +または-キーを押し、設定を行うメニューを選びます。

**5** M キーを押します。  
 ●選んだ項目の設定内容が表示されます。  
 ●選んだ項目により、さらに項目を選ぶ場合があります。

**6** + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを押し、設定する項目や値を選びます。

**7** M キーを押します。  
 ●選んだ項目や値が設定され、セッティングメニュー表示に戻ります。

**8** M キーを 2 秒以上押し、離します。  
 ●セッティングメニューを使う前に表示していた音楽データまたは録音データの表示に戻ります。  
 ●◀◀または▶▶ キーを押し、「前のメニューに戻る」を選び M キーを押すと、順次前の項目に戻っていきます。  
 ●他のメニュー項目を選ぶ場合は、手順 4 から行ってください。



**ヒント**

●セッティングメニューの選んだ各項目で何も操作しないと、選ぶ前の表示に順次戻っていきます。ただし、この場合、選んだ項目は有効になります。

## ▶ 音に関する設定を変更する

音楽を再生しているときの音質など音に関する設定を本機の設定メニューで変更できます。

### ■ 音質を切り換える ■

再生する音楽データの音質を、その音楽データの内容に合わせて切り換えることができます。5 種類の音質と 2 種のユーザー設定、3 種の SRS 設定の中から選ぶことができます。

**1** M キーを 2 秒以上押します。

**2** ◀◀ または ▶▶ キーを押して、「設定メニュー」を選びます。

**3** M キーを押します。  
 ●設定メニュー画面が表示されます。

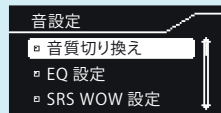
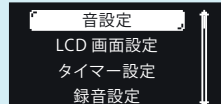
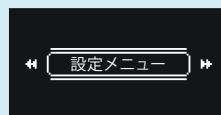
**4** + または - キーを使って、「音設定」を選びます。

**5** M キーを押します。  
 ●音設定のメニュー画面が表示されます。

**6** + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「音質の切り換え」を選びます。

**7** M キーを押します。  
 ●音質のリストが表示されます。

**8** + または - キーを使って、音質を選び、M キーを押し決定します。  
 ●音設定のメニュー画面に戻ります。



**ヒント**

●ここで設定した内容は、音楽データ再生モードと録音データ再生モード時に反映されます。

## 音質をバンドごとに設定する

各音質のバンド(周波数)ごとに変更することができます。

**1** 「音質を切り換える」(P.41)の手順 1 から 5 まで行います。

**2** + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、「EQ 設定」を選びます。

**3** M キーを押します。  
●音質の各バンドを設定する画面が表示されます。

**4** ◀▶ または ▶▶ キーを使って、設定を変更するバンド(周波数帯)また音質を選びます。  
●音質の横に ▶ 印がある時に音質の種類を + または - キーで変更できます。

**5** + または - キーを使って、設定値または音質を変更します。

**6** 設定が終わったら、M キーを押します。  
●音設定のメニュー画面に戻ります。



### 重要

●音楽データ再生モード時や録音データ再生モード時に、SRS の設定 (SRS、SRS TRUBASS、WOW) を選んでいるときは、「SRS ON」の表示が出て、このメニューは使えません。一度音楽データ再生モード時や録音データ再生モードに戻って、SRS の設定を解除してください。

## SRS の設定を変更する

音質として SRS 設定を選んだときの設定を変更できます。

**1** 「音質を切り換える」(P.41)の手順 1 から 5 まで行います。

**2** + または - キーを使って、「SRS WOW 設定」を選びます。

**3** M キーを押します。  
●SRS の設定メニュー画面が表示されます。

**4** + または - キーを使って、設定を変更する項目を選び、M キーを押します。  
●選んだ項目の設定変更表示になります。

**5** + / - キーまたは ◀▶ キーを使って設定を変更します。

●Focus 調節：SRS 効果の強弱を選択します。  
TruBass 調節：TruBass の低音効果を 0 から 10 のレベルで調整します。  
Volume 調節：SRS WOW のサラウンド効果を 0 から 10 のレベルで調整します。  
スピーカー設定：SRS の効果を高めるために、お使いになるイヤホンやスピーカーにあった設定を 00 から 05 のレベルで調整します。  
00 = イヤホン小、01 = イヤホン大 (通常この設定です)、02 = ヘッドホン、03 = スピーカー小、04 = スピーカー中、05 = スピーカー大。

**6** M キーを押します。  
●SRS の設定メニュー画面に戻ります。

**7** M キーを押します。  
●音設定のメニュー画面に戻ります。



## 再生する速度の切り換え

音楽データや録音データを再生するときに、その再生速度を変更することができます。ゆっくりとした再生もできますので録音していた会議の議事録を作るときなどに便利です。

- 1 「音質を切り換える」(P.41)の手順 1 から 5 まで行います。

- 2 +または-キーを使って、「再生速度調節」を選びます。

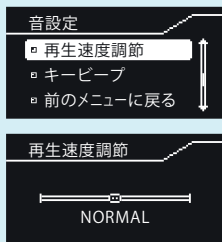
- 3 M キーを押します。
  - 再生速度の設定画面が表示されます。

- 4 ◀または▶ キーを使って、再生速度を設定します。
  - 「NORMAL」が通常です。「QUICK」になり「100」を越えると再生速度が速くなります。「SLOW」になり「100」を切ると再生速度が遅くなります。

- 5 M キーを押します。
  - 音設定のメニュー画面に戻ります。



- 再生速度の設定は、設定後電源をオフにすると設定は解除されます。



## キーを押したときの音の設定

本機のキーを押したときに、「ピッ」という音を出したり消したりすることができます。

初期設定は音が出るようになっています。

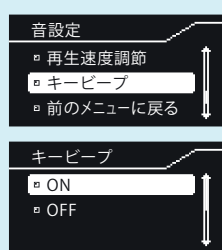
- 1 「音質を切り換える」(P.41)の手順 1 から 5 まで行います。

- 2 +または-キーを使って、「キービープ」を選びます。

- 3 M キーを押します。
  - キービープの設定画面が表示されます。

- 4 +または-キーを使って、「ON」または「OFF」を選びます。
  - 「ON」を選ぶとキーを押したときに音が出ます。
  - 「OFF」を選ぶとキーを押したときに音が出ません。

- 5 M キーを押します。
  - 音設定のメニュー画面に戻ります。



## 表示に関する設定を変更する

表示画面のバックライトが点灯する時間やコントラスト、再生中の表示など表示に関する設定を本機の設定メニューで変更できます。

### 文字のスクロール速度を設定する

音楽再生時などに文字がスクロールする速度を変更できます。長いタイトル曲を再生する時にスクロール速度を速くすると読みやすくなります。

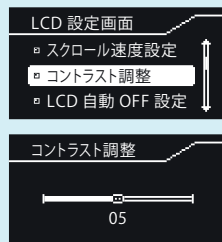
- 1 M キーを 2 秒以上押します。
- 2 ◀◀ または ▶▶ キーを押して、「設定メニュー」を選びます。
- 3 M キーを押します。  
●設定メニュー画面が表示されます。
- 4 +/− キーまたは ◀◀/▶▶ キーを使って、「LCD 画面設定」を選びます。
- 5 M キーを押します。  
●LCD 画面設定のメニュー画面が表示されます。
- 6 +/− キーまたは ◀◀/▶▶ キーを使って、「スクロール速度設定」を選びます。
- 7 M キーを押します。  
●スクロール速度設定の選択画面が表示されます。
- 8 ◀◀ または ▶▶ キーを使って速度を選択します。  
●「5x」を選ぶと、一番速くスクロールされます。  
「NORMAL」を選ぶと、通常の速さでスクロールされます。
- 9 M キーを押します。  
●LCD 画面設定のメニュー画面に戻ります。



## コントラストを調節する

表示のコントラストを調節することができます。

- 1 「文字のスクロール速度を設定する」(P.46)の手順 1 から 5 まで行います。
- 2 + または − キーを使って、「コントラスト調整」を選びます。
- 3 M キーを押します。  
●コントラスト調整の画面が表示されます。
- 4 ◀◀ または ▶▶ キーを使って、コントラストを調節します。  
●数字が大きくなると、明るくなります。
- 5 調節が終わったら、M キーを押します。  
●LCD 画面設定のメニュー画面に戻ります。

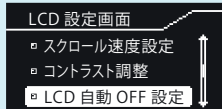


**ヒント** ●コントラストの設定は、設定後電源をオフにすると設定は保持します。

## 表示を自動に切る(LCD 自動オフ)

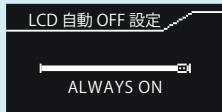
一定の時間操作がないと、LCD 表示を消す時間を設定することができます。

- 1 「文字のスクロール速度を設定する」(P.46)の手順 1 から 5 まで行います。



- 2 +または-キーを使って、「LCD 自動 OFF 設定」を選びます。

- 3 M キーを押します。
  - LCD 表示自動オフ設定時間の画面が表示されます。



- 4 ◀または▶ キーを使って、LCD 表示がオフになるまでの時間(秒)を選択します。
  - 「ALWAYS ON」を選ぶと、LCD 自動オフ機能は働きません。
  - 設定時間「ON」を選ぶと、キー操作をしている間以外は常に LCD 自動オフ機能が働きます。

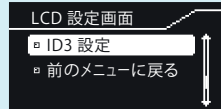
- 5 M キーを押します。
  - LCD 画面設定のメニュー画面に戻ります。

**ヒント** ●歌詞を表示している間は、LCD 自動オフ機能は働きません。

## ID3 タグで表示する

再生される曲の表示を ID3 タグとファイル名とで切り換えることができます。

- 1 「文字のスクロール速度を設定する」の手順 1 から 5 まで行います。



- 2 +または-キーを使って、「ID3 設定」を選びます。

- 3 M キーを押します。
  - ID3 設定のメニュー画面が表示されます。



- 4 +または-キーを使って、「ID3」または「FILENAME」を選択します。
  - 「ID3」を選ぶと ID3 タグの表示になります。
  - 「FILENAME」を選ぶとファイル名で表示されます。

- 5 M キーを押します。
  - LCD 画面設定のメニュー画面に戻ります。

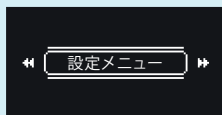
## タイマー設定を変更する

設定した時間に電源を切る機能や、一定時間操作がされないと電源を切る機能があります。

### 設定した時間が過ぎると電源を切る(スリープタイマー)

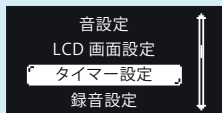
設定した時間が経過すると電源を自動的に切ることができます。

- 1 M キーを 2 秒以上押します。



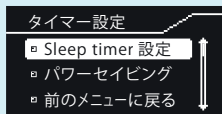
- 2 ◀◀ または ▶▶ キーを押して、「設定メニュー」を選びます。

- 3 M キーを押します。  
●設定メニュー画面が表示されます。



- 4 + または - キーを使って、「タイマー設定」を選びます。

- 5 M キーを押します。  
●タイマー設定のメニュー画面が表示されます。



- 6 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「Sleep timer 設定」を選びます。



- 7 M キーを押します。  
●Sleep timer 設定の画面が表示されます。

- 8 ◀◀ または ▶▶ キーを使って、設定する時間(分)を選びます。  
●「DISABLE」を選ぶと、スリープタイマーは動きません。

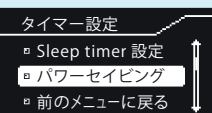
- 9 M キーを押します。  
●タイマー設定のメニュー画面に戻ります。

- ヒント**
- この機能は、再生している状態で働きます。停止状態では働きません。
  - 音楽データや録音データの再生中でも、設定した時間が経過すると電源は切れます。

### 操作がないと自動で電源を切る(パワーセービング)

音楽データや録音データの一時停止中に、設定された時間内に何も操作がされないと自動的に電源を切ることができます。

- 1 「設定した時間が過ぎると電源を切る(スリープタイマー)」(P.50)の手順 1 から 5 まで行います。



- 2 + または - キーを使って、「パワーセービング」を選びます。



- 3 M キーを押します。  
●パワーセービングの画面が表示されます。

- 4 ◀◀ または ▶▶ キーを使って、設定する時間(分)を選びます。  
●「DISABLE」を選ぶと、パワーセービングは動きません。

- 5 M キーを押します。  
●タイマー設定のメニュー画面に戻ります。

- ヒント**
- 音楽データや録音データの再生中には、パワーセービングは動きません。
  - スリープタイマーは、動作後は設定が「DISABLE」に戻ります。

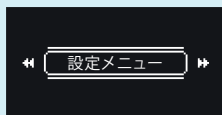
## 録音するレベルを変更する

### 録音する際の入力レベルを設定する

録音しようとする音が大きすぎると、録音した音が歪んだり、ノイズになって聞こえることがあります。また、入力される音が小さいため録音された音が小さすぎる場合があります。

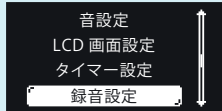
このような場合に入力される音のレベルを下げたり、上げたり調節して録音することができます。

- 1 M キーを 2 秒以上押します。



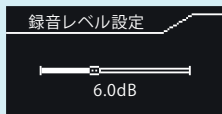
- 2 ◀◀ または ▶▶ キーを押して、「設定メニュー」を選びます。

- 3 M キーを押します。  
● 設定メニュー画面が表示されます。



- 4 + または - キーを使って、「録音設定」を選びます。

- 5 M キーを押します。  
● 録音設定のメニュー画面が表示されます。



- 6 ◀◀ または ▶▶ キーを使って、設定を変更します。  
● 数値が大きくなると、録音する音レベルは上がります。  
数値が小さくなると、録音する音レベルは下がります。

- 7 設定が終わったら、M キーを押します。  
● 設定メニュー画面に戻ります。

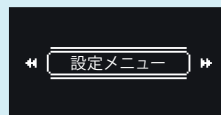
## キー操作やその他設定を変更する

キーを押したときの操作を変更したり、表示される言語を変更することができます。

### 再生方法を選択する

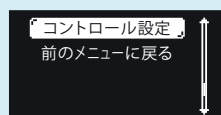
音楽データや録音データを再生するときのリピート方法やランダムに演奏する方法を選択できます。

- 1 M キーを 2 秒以上押します。



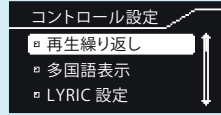
- 2 ◀◀ または ▶▶ キーを押して、「設定メニュー」を選びます。

- 3 M キーを押します。  
● 設定メニュー画面が表示されます。



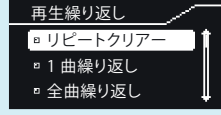
- 4 + または - キーを使って、「コントロール設定」を選びます。

- 5 M キーを押します。  
● コントロール設定のメニュー画面が表示されます。



- 6 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「再生繰り返し」を選びます。

- 7 M キーを押します。  
● 再生繰り返しのメニュー画面が表示されます。



- 8 + または - キーを使って、再生したい繰り返し方法を選びます。

- 9 設定が終わったら、M キーを押します。  
● コントロール設定のメニュー画面に戻ります。

**ヒント**

- 音楽再生時に表示される再生方法と表示は以下のようになります。
- NR** .....リピートクリアー：音楽データをデータ番号順に一度だけ演奏します。(本機をお買い上げ時には、この再生方法に設定されています。)
- 1** .....一曲繰り返し：選んだ音楽データ1曲をリピート演奏します。
- ALL** .....全曲繰り返し：全音楽データをリピート演奏します。
- SHU** .....順不同で聴く：音楽データをランダムに選び、1度だけ演奏します。
- S-A** .....順不同で全曲繰り返し：音楽データをランダムに選び、リピート演奏します。

**表示される言語を選ぶ**

表示される言語を選択することができます。

- 1 「再生方法を選択する」(P.53)の手順1から5まで行います。
- 2 +または一キーを使って、「多国語表示」を選びます。
- 3 Mキーを押します。  
●多国語表示のメニュー画面が表示されます。
- 4 +または一キーを使って、言語を選びます。
- 5 選択が終わったら、Mキーを押します。  
●コントロール設定のメニュー画面に戻ります。

**ヒント**

- 言語を選択しても、ID3 タグの形式が正しくない、その国の言語で正しく表示されないことがあります。
- 選択した言語で表示されるのは、音楽データ再生時にID3 タグで表記されたアーティスト名やテキストビューワ文章です。

**歌詞を表示する**

曲の再生に合わせて、歌詞を表示させることができます。

**重要**

- 歌詞を表示するためには、SIREN Web サイトのサポートページから LDB Lyrics Manager をパソコンにダウンロードしてください。
- LDB Lyrics Manager を使って作った歌詞データを本機にダウンロードする必要があります。

- 1 「再生方法を選択する」(P.53)の手順1から5まで行います。
- 2 +または一キーを使って、「LYRIC 設定」を選びます。
- 3 Mキーを押します。  
●歌詞表示の選択画面が表示されます。
- 4 +または一キーを使って、「ON」または「OFF」を選択します。  
●「ON」を選ぶと、歌詞表示になります。  
「OFF」を選ぶと、歌詞表示にはなりません。
- 5 Mキーを押します。  
●コントロール設定のメニュー画面に戻ります。

**ヒント**


- 歌詞データの作り方は、SIREN Web サイトのサポートページ [[www.sirenjp.com/support/](http://www.sirenjp.com/support/)] をご覧ください。
- この機能を「ON」にして歌詞のある音楽データを再生するとスクリーンセーバー機能は働きません。
- 歌詞表示の作成できるファイルは、MP3 ファイルのみです。

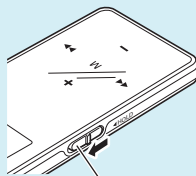


## 間違ってキーを押さないために

### ホールド機能について

ホールド機能を使うと、本機のキー操作を使えなくすることができます。誤ってキーを押してしまうことを防ぎたいときにお使いください。

- 1 HOLD キーを左側にスライドさせます。
  - HOLD キー以外のキーは使えなくなります。
  - 本機がホールド状態のときは、表示部に「」が表示されます。



- 2 ホールド機能を解除するには、HOLD キーを右側にスライドさせ元に戻します。

- ✓ **注意** ●本機を衣服や鞆などの中に入れてご使用の際に、接触によりタッチパネルが作動してしまう可能性があります。衣服や鞆などに入れてお使いの際は、必ず HOLD 状態にしてください。

## ファームウェアのアップグレードについて

ファームウェアをアップグレードすることで、機能を追加したり、より使い易くすることができます。

- ✓ **注意** ●アップグレードを行う前に、下記の説明をお読みください。手順通りに行わない場合、本機が動作不能になる場合があります。
- なお、最新のファームウェアは、SIREN Web サイト [\[www.sirenjp.com/support/\]](http://www.sirenjp.com/support/) からダウンロードしてください。
- ファームウェアをアップグレードする前に、本機に入っている重要なファイルは必ずバックアップを行ってください。

### ホームページからのファームウェアのダウンロード方法

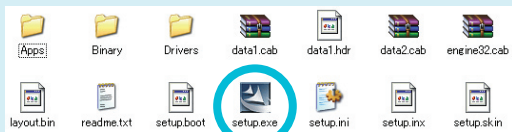
- 1 SIREN Web サイト [\[www.sirenjp.com/support/\]](http://www.sirenjp.com/support/) より、本機のファームウェアのアップグレード用のデータをダウンロードしてください。
  - ファームウェアのデータは、ファームウェアのデータと本機のファームウェアを書き換えるためのプログラム等と一緒に圧縮された状態です。
  - デスクトップ上にダウンロードすると、ダウンロードした後にデータが探しやすくなります。
- 2 ダウンロードしたデータをダブルクリックします。



DP200FIRMxxx.exe

- データの解凍が始まります。

- 3** データの解凍が始まると解凍先を聞いてきますので、デスクトップを指定します。  
●デスクトップにファームウェアのフォルダーが解凍されます。
- 4** 解凍されたフォルダーをダブルクリックして開いてください。  
●フォルダーが開きます。
- 5** 「setup.exe」をダブルクリックしてください。



- ファームウェアの書き換えプログラムのインストールが開始されます。
- 6** プログラムからの質問に答えながら、インストールを進めてください。



- 最後に「完了」を押してください。

- 7 「スタート」をクリックし、「Update SIREN DP200」のアイコンが表示され、インストールされたことを確認します。



- インストールが成功して、初めて「スタート」をクリックすると「新しいプログラムがインストールされました。」と表示されます。
- もし、スタートメニューにアイコンが見えない場合は、「スタート」→「すべてのプログラム」(すべてのプログラムが表示されます)→「Update SIREN DP200」がインストールされたことを確認してください。



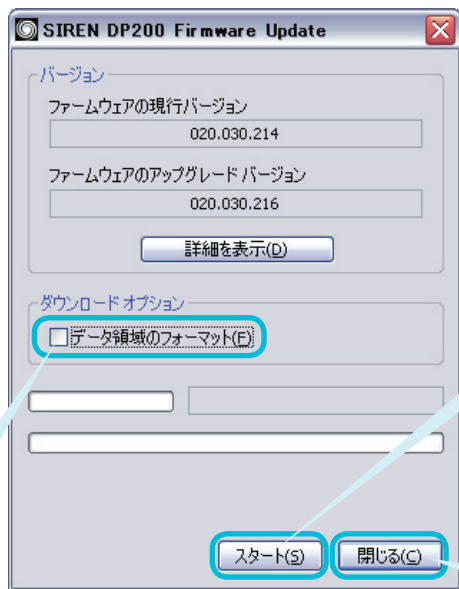
- ヒント**
- ここでのプログラム名やファイル名または各表示は、改良のため予告無く変更されることがあります。また、一部の表示は取扱説明書において読みやすくするために、文字を大きくしている箇所があります。

## ファームウェアのアップグレード方法

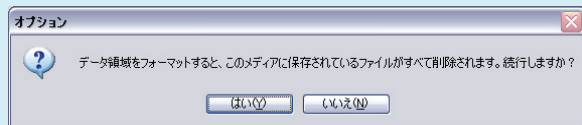
- 1 付属の USB ケーブルを使って、本機の USB 端子とパソコンの USB ポートを接続してください。
- 2 「スタート」→「すべてのプログラム」→「SIREN DP200」→「Update SIREN DP200」を選択し、クリックします。



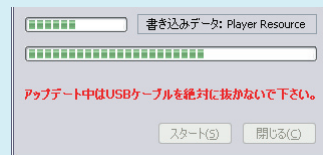
- ファームウェアのアップグレードのプログラムが立ち上がり、ウィンドウが開きます。
- 「スタート」をクリックし、「Update SIREN DP200」のアイコンが表示されている場合は、そのアイコンをダブルクリックしてください。



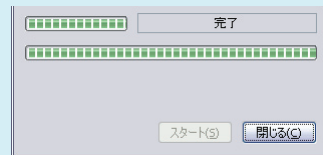
- 3** アップグレードを開始する前に「データ領域のフォーマット」欄チェックマークを確認し、本機内のデータを削除したくない場合は、チェックマークを外してください。
- 本機内のデータを削除しても良い場合は、「データ領域のフォーマット」欄チェックマークを入れてください。チェックマークを入れると、確認のためのウィンドウが開きます。「はい」をクリックしてください。



- 4** 「スタート」をクリックするとファームウェアの書き込みがスタートします。
- ファームウェアの書き込み中は、ケーブルを取り外したり、電源を切ったりしないでください。ファームウェアの書き込みに失敗して本機が動作しなくなることがあります。
  - ファームウェアの書き込み状況は、下段 2 つのバーにより確認できます。



- 5** ファームウェアの書き込みが完了すると、「完了」と「閉じる」ボタンが表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。
- ファームウェアの書き込みが完了すると、下段 2 つのバー表示が右まで一杯になります。また「アップデート中は USB ケーブルを絶対に抜かないで下さい。」の表示が消えます。



- 6** 全ての作業が終了していることを確認してから、パソコンからの切り離しの手順(P.11～P.12 参照)に従って、本機をパソコンから取り外してください。

## リカバリーモードを使っの ファームウェアのアップグレード方法

なんらかの不具合により、本機がパソコンに認識されない場合や、通常の方法ではアップグレードできない状態になったときには、リカバリーモードを使ってファームウェアのアップグレード行ってください。

- 1 本機の電源を切ります。
  - 「電源が入らない」等の不具合で、完全に電源がオフになっているかどうか分らない場合は、本体の強制リセットを行ってください。
- 2 ►キーを押すと同時に、パソコンのUSB 端子へ接続してください。  
そのままの状態で10秒以上►キーを押した状態にしてから、  
►キー離してください。
  - リカバリーモードに入ると、本体のLCD には何も表示しません。LCD に表示が出れば、リカバリーモードには入っていませんので、再度接続してください。
- 3 「スタート」→「すべてのプログラム」→「SIREN DP200」→「Update SIREN DP200」を選択し、クリックします。
  - リカバリーモードによるファームウェアの書き換えの場合は、最初に下記の画面が表示されます。



- パソコンに本機が認識されると、ファームウェアのアップグレードのプログラムが立ち上がり、ウィンドウが開きます。

- 4 これ以降は、「ファームウェアのアップグレード方法」の手順3 から行ってください。
  - リカバリーモードによるファームウェアの書き換え時はすべてのデータをリセットするため、保存しているデータもフォーマットする必要があります。「データ領域のフォーマット」欄にチェックマークを入れてください。マークを付けなかった場合でも、データ領域のフォーマットをするようにメッセージが表示することがあります。

## ファームウェアのバージョンを確認

本機ファームウェアのバージョンを確認するには以下の方法で確認してください。

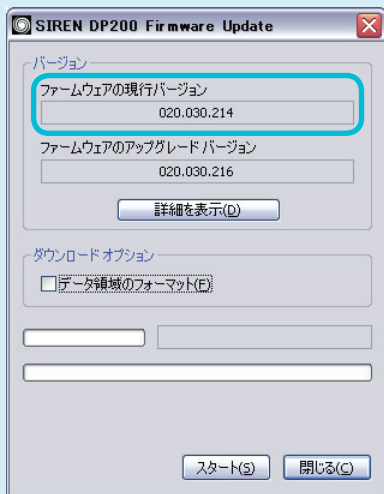
### 本機表示部で確認する

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「設定メニュー」を選びます。
- 2 「設定メニュー」から「コントロール設定」を選び、更に「バージョン情報」を選びます。

バージョン情報	
▣ VER :	020.030.214
▣ TOTAL :	233 MB
▣ USED :	119 MB

## ファームウェアのアップグレード画面で確認する

- 1 「ファームウェアのアップグレード方法」(P.61 ～ P.63) 手順 1 から 4 に従い、アップグレード画面を表示します。



上記の画面の「ファームウェアの現行バージョン」の欄に表示している数字が本機のファームウェアバージョンです。

## その他

### 故障かなと思ったら

製品が正常に作動しない場合には、まず以下の内容をご確認ください。

症 状	処 置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーが切れている場合があります。充電してください。</li> </ul>
イヤホンから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イヤホンが奥まで挿し込まれているか確認してください。</li> <li>● 音量が最小になっていないか確認してください。</li> <li>● バッテリーが切れている場合があります。充電してください。</li> <li>● イヤホンジャックに何か詰まっていませんか、またイヤホンジャックはきれいですか。</li> <li>● ダウンロードしたデータ形式は正しいですか。</li> </ul>
表示が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表示したい言語とデータ内文字データ (ID3 タグ) が正しく合っていますか。</li> <li>● 本機では取り扱えない、データ内文字データ (ID3 タグ) ではないですか。</li> </ul>
データのダウンロード・アップロードがうまくいかない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーが切れている場合があります。充電してください。</li> <li>● USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、USB ケーブルが切断などされていないことを確認してください。</li> <li>● 本機のメモリーが不足状態になっていませんか。不要なデータは削除してください。</li> </ul>

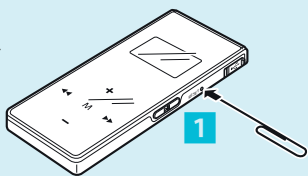
前記の表をご覧になっても問題が解決されない場合は、SIREN Web サイト「[www.sirenjp.com](http://www.sirenjp.com)」をご参照ください。

弊社 Web ページの「Support (サポートセンター)」にある「FAQ (よくある質問と答え)」ページでは、皆様からお寄せいただいたご質問とその回答を紹介しております。一般的な問題やご質問の多くは FAQ の情報で解決できますので、ぜひご参照ください。

FAQ をご覧になっても問題が解決されない場合は、下記に従い本機をリセットすることをお勧めします。

## ■ 本機のリセット方法 ■

- 1 リセットスイッチをゼムク  
リップなどを利用して押し  
ます。



本機をリセットしても問題が解決されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

[www.sirenjp.com/support/](http://www.sirenjp.com/support/)

## ■ サポートセンターへのお問い合わせ方法 ■

ご使用の製品とご使用環境に関する「サポートに必要な情報」が必要となります。全ての情報をご用意いただいた上でお問い合わせいただきますと、より早い対応が可能となります。

### サポートに必要な情報

- ご使用の製品名「DP200」とファームウェアのバージョン
- 本体裏面シールに記載されているシリアル番号 (S/N)
- 再生した音楽ファイルのデータ形式 (WMA、MP3)
- 音楽ファイルを作成する際に使用したソフトウェアの名 (RealOne、WMP など)
- 具体的なお問い合わせの内容  
行なった操作、手順、発生した不具合の状況について詳細にお知らせください。また、エラーメッセージなどが表示されている場合は、メモをとってお知らせください。
- パソコンのメーカー名、機種名  
(自作パソコンの場合は、マザーボードおよび CPU の名前)
- OS の種類とバージョン

### お問い合わせ先

Web ページアドレス: [www.sirenjp.com/support/](http://www.sirenjp.com/support/)

電子メール: support@sirenjp.com 電話: 0570-001-606

受付時間: 平日 (月曜～金曜) 午前 9:30 ～ 午後 9:30

※ IP 電話、PHS 電話では繋がりませんので、一般の電話か携帯電話でお掛けください。

## ■ 最新情報について ■

DP200 の最新情報に関しては、上記弊社 Web サイトにてご覧ください。また、ユーザー登録をしていただくと、最新情報をメールにてお送りします。

## 製品の修理／交換について

製品の修理／交換の受付先はサポートセンターです。製品に不具合が発生し、修理が必要と思われる場合は、ご購入店へ製品をお持ちにならずに、まずサポートセンターへお問い合わせください。不具合の内容によっては、修理をしなくとも解決できる場合がございます。

### 修理・交換の手順

1. お客様からサポートセンターへ直接お問い合わせください。
2. サポートセンター担当者が修理または交換の必要性を判断します。
3. 修理または交換が必要な場合、サポートセンターから返送整理番号(RMA 番号)と不具合品の返送方法をお客様にご案内します。
4. 不具合品を弊社指定先へ返送整理番号(RMA 番号)を記載してご返送ください。
5. 弊社にて返送品を受領後、お客様へ修理品または交換品を発送いたします。

### 重要

- 修理依頼を受けました依頼品の内部のデータ関係については、一切保証致しませんので、ご了承願います。

サポートセンターからご案内する返送整理番号(RMA 番号)の無い返送品はお受け取りすることができません。製品を返送する前に必ずサポートセンターへお問い合わせ下さるようお願い致します。弊社指定先への返送時の送料はお客様のご負担となります。修理品または交換品の発送時の送料は、弊社が負担いたします。

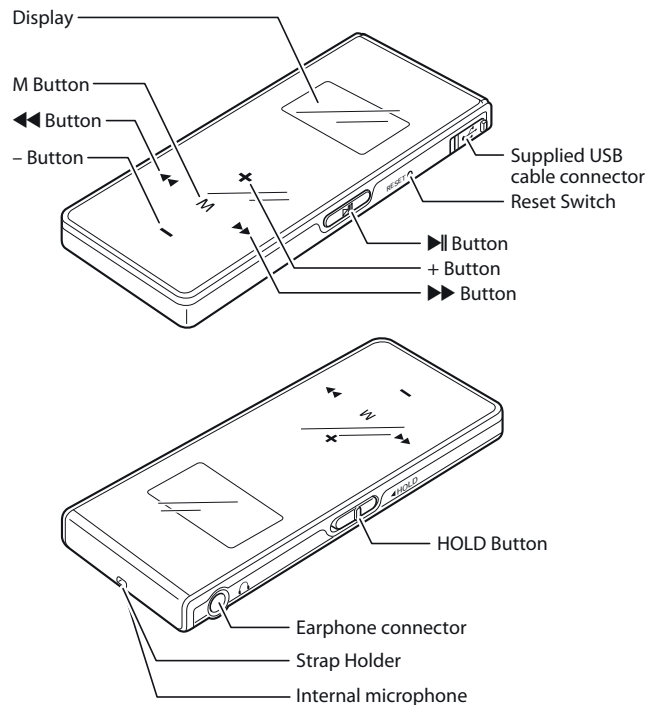
製品の修理または交換の時には、製品保証書と購入日の証明が必要となります。ご購入の際に販売店で、製品保証書に販売日・販売店印を記入、捺印してもらうかそれらが記入されたシールなどをもらって下さい。購入の際のレシート、領収書、通信販売の場合は製品の送り状等も購入日の証明となります。製品保証書と購入日の証明が無い場合には、保証期間中でも無償修理または交換が受けられません。詳しくは保証規定をご参照ください。

## Quick Reference

You can change the displayed text form Japanese to English in the setting menu.

Refer to page 49 to 51.

### Part names and functions





## Display

File names (song titles) and/or artist names are displayed here.  
The main menu or setting menu is also displayed to select tracks or change settings.

## M Button

Press and hold this button, and then release to change the display to the main menu.  
In menu mode, press and hold this button, and then release to return the previous music or voice mode.  
In Play Mode:  
Press this button to set A-B repeat during play.

## ◀◀, ▶▶ Button

In Player Mode:  
Press the ▶▶ button to move to the next track.  
Press the ◀◀ button to move to the previous track.  
Press and hold the ▶▶ button to fast forward the track.  
Press and hold the ◀◀ button to rewind the track.  
Fast forward or rewinding can be preformed in stop mode.  
In FM Radio Mode:  
Press the ▶▶ button to move to increase the frequency by 0.1 MHz steps.  
Press the ◀◀ button to move to decrease the frequency by 0.1 MHz steps.  
Press and hold the ▶▶ button to scan the higher frequency.  
Press and hold the ◀◀ button to scan the lower frequency.  
In Navigation Mode:  
Press the ◀◀ or ▶▶ button to move the folder layer.  
In Menu mode:  
Press these buttons to select the horizontal menu.

## + , - Button

In Player or Voice Recoder Mode:  
Press the + button to increase the volume.  
Press the - button to decrease the volume.  
Press and hold the + button to increase the volume quickly.  
Press and hold the - button to decrease the volume quickly.  
In Navigation Mode:  
Press these buttons to select the music data vertically.  
In Menu Mode:  
Press these buttons to change the menu contents.

## ▶|| Button

Press and hold this button to turn on or off the player.  
In Player Mode:  
Press this button to start or stop music.  
In FM Radio Mode:  
Press this button to mute.

## Reset Switch

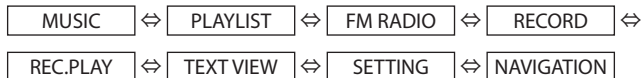
Press the Restart Switch with a pointed object. If this switch is pressed, the music and settings are not cleared.

## HOLD Button

Slide this button to arrow mark direction, the all buttons are unavailable except the HOLD button.

## Main Menu

You can change the player's mode in the main menu. The main menu has the following modes;



### To change the mode

- 1 Press and hold the M button to display the main menu.
- 2 Press the ◀◀ or ▶▶ button to select the player's mode.
- 3 Press the M button to select a mode.

## Main Menu Contents

### MUSIC PLAYER

This mode is the initial mode for this player. You select this mode to play music.

### PLAYLIST

This mode plays a music as a Playlist which was made in Navigation. If this player has no Playlist, "No Files" is displayed when this mode is selected.

### FM RADIO

You select this mode to listen the FM radio. The frequency or preset channel can be changed with the ◀◀/▶▶ buttons. A preset channel can be called with the REC button. Preset channels can be set automatically by holding down the REC button.

### VOICE RECORDER

You select this mode to record voice or sound. Press the M button to start the recording.

### PLAYBACK REC. FILE

You select this mode to play the recording files. Press ▶|| button to start playback.

### TEXT VIEWER

You select this mode to show the simple text data in TEXT folder.

### NAVIGATION

You select this mode when the desired music to select with the ◀◀/▶▶ or +/- buttons. You can play or delete the selected music or data with the M button in this mode. When you select a music, it is added for a Playlist with M button.

## Setting Menu

The Play Mode, sound quality, and/or other settings can be changed in the setting Menu.

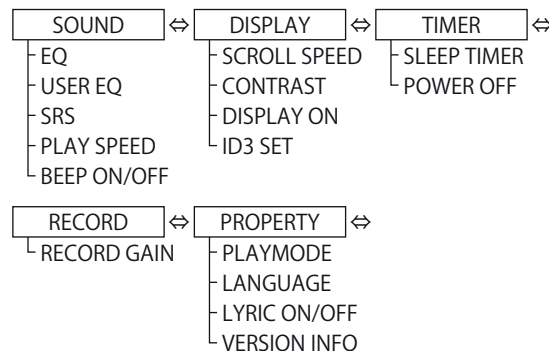
### To change the Setting Menu

- 1 Press and hold the M button so the main menu is displayed.
  - The main menu is displayed.
- 2 Press the ◀◀ or ▶▶ button to select the 設定 (Settings) to enter the setting menu.
- 3 Press the M button.
  - The setting menu is displayed.
- 4 Press the + or - button to select the setting menu item to be set.
- 5 Press the M button.
  - The contents are displayed.
  - Some contents have their own setting menus.
- 6 Press the + or - buttons to select the content.
  - The content is available by selecting.
- 7 Press M button to set and then the setting menu will be displayed.



- The setting menu will return to the previous display when no operation is continued. In this case, the selected content is available.

### Setting Menu Chart



### Setting Menu Contents

#### SOUND

##### ❖ EQ (Equalizer)

You can select the presetting to match your listening tastes. The equalizer has 5 presettings, 2 user settings and 3 SRS equalizer.

##### ❖ USER EQ

You can change the equalizer by each bands. We recommend that you should change the USER EQ1 and USER EQ2 to keep other equalizer settings.

##### ❖ SRS

You can set the TruBass and SRS volume for the SRS equalizer.

##### ❖ PLAY SPEED

You can change the playback speed from 50 % to 150 % in play mode.

##### ❖ BEEP ON/OFF

You can change the playback speed from 50 % to 150 % in play mode.

## DISPLAY

### ❖ SCROLL SPEED

You can select the text scroll speed. You can confirm the scroll speed in the preview window.

### ❖ CONTRAST

You can change the display contrast.

### ❖ DISPLAY ON

You can set the period which turn the display on.

### ❖ ID3 SET

You can change the display form ID3 to the file name.

## TIMER

### ❖ SLEEP TIMER

You can set the sleep timer. When the timer expires the power automatically shuts off.  
This timer will be executed even if the player is playback a music.

### ❖ POWER OFF

You can set the auto power off. When the timer expires the power automatically shuts off in pause mode.

## RECORD

### ❖ RECORD GAIN

You can set the recording volume to record the loud source.

## PROPERTY

### ❖ PLAY MODE

You can select the following play mode;

Normal (**NR**), Repeat 1 (**1**), Repeat All (**ALL**), Shuffle (**SHU**), and Shuffle All (**S-A**).

### ❖ LANGUAGE

You can select the desired language.

### ❖ LYRIC ON/OFF

You can turn on and off the music lyrics.

### ❖ VERSION INFO

You can confirm the firm ware version, total memory size and used memory size.

